

# 「沖縄県におけるオスプレイの連続重大事故の原因究明と、安全性の確認がないままの横田基地への飛来・配備の中止を求める緊急決議」を求める意見書

福生市議会議長 末次和夫 殿

2016年12月16日

日本共産党 奥富喜一

日本共産党 池田公三

12月14日未明に沖縄本島東海岸の浅瀬で、大破した米普天間飛行場所属の米海兵隊のMV-22オスプレイが発見されました。米軍は「完全にコントロール下の不時着」としているようですが、大破した機体の状況から、コントロール不能に陥った結果の墜落であることは明らかです。

さらに、マスコミがこの事故を取材する過程で、前日の13日夜、別のオスプレイが故障によって、普天間基地に胴体着陸していたことも明らかになりました。

オスプレイは、2011年から今日迄、毎年2件以上のAクラスに属する重大事故を繰り返し起こしています。この事実は根本的原因の究明・改善が行われていない疑いさえも抱かせるものです。

今回の事故は海上だったために、民間への被害を免れましたが、人口密集地や市街地では、その被害は計り知れないものがあります。

こうした状況にあってもなお、横田基地にオスプレイを配備する計画が撤回されないことは、福生市民の生命・財産を全く軽視する重大な問題です。

福生市議会では、平成27年6月9日に全会一致で決定した「CV22オスプレイの横田基地への配備に対する決議」などで、オスプレイの安全性への疑問が払拭されていないことなどを指摘してきました。今回の事故を受け、その疑問はますます大きなものとなっています。

市長もすぐに意思表示されました。福生市議会として、今回の沖縄における連続した重大事故の徹底した原因究明と、安全性の確認がなされないまま横田基地へのオスプレイの飛来・配備が行われないよう、強くもとめる緊急決議を出すことを求めます。